

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい、という項目で、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう事業所自体が地域の一員として日常的に交流する。	すぐ近くに中学校もあるので学校行事、体育祭、文化祭等参加することでの交流を深める。同時に同じ敷地内に小規模多機能事業所もあるので同じ地域交流という意味では交流する。	中学校の行事参加については学校側との連絡をさせていただき、体育祭では暑い時に開催と思われるのでテントの下(暑さ対策)等十分に打ち合わせを行い、文化祭についても念入りに打ち合わせを行う。	12ヶ月
2	5	身体拘束をしないケアの実践、という項目について代表者及びすべての職員が指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解しており身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束・虐待防止委員会がありミーティングの中では各職員振り返り話し合っているが、記録が出来ていない。	資料をもとには話し合っていて特に記録には残していなかった。今後は話し合った内容を報告書で具体的に記録する。	12ヶ月
3	18	日常的な外出支援、という項目で、1人1人のその日の希望に添い戸外に出掛けられるよう支援していく。又普段は行けない様な場所でも本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援する。	冬場は感染症のリスクもあり外出も控えめになるが気候が良い時は全員そろっての外出は難しくてもドライブや買い物等少人数もしくは個別での外出を計画し非日常を楽しむ。	週に1~2回買い物にも出掛けるので行ける時には一緒に個別で出掛ける。天気の良い日は近くに公園もあるので、気分転換の意味でも散歩に出る。ドライブも気候が良い時期に年2~3回くらいからスタートする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。